

公共施設の有効利用に向けた取組の推進について

これまでの取組

- ◆ 公共施設マネジメントの取組を推進するに当たっては、**市民の理解を得る**ことが不可欠
- ◆ 主要な大型公共施設に係る維持管理コスト等の情報について、**分かりやすい形で「見える化」**し、**情報共有を図りながら進める**ことが重要

R4～「はちのへ大型公共施設見える化シート」

- ・ 施設の基本的な情報
 - ・ 管理運営に要した費用
 - ・ 利用状況
 - ・ 地域の活性化等に向けた各施設の取組状況
- ⇒ **施設ごとの特性を総合的に把握**



R5 公共施設の有効利用に関する市民アンケート

- ・ 「見える化シート」の掲載施設を対象
 - ・ 施設利用に関する市民ニーズの把握
 - ・ 各施設の有効利用に向けた具体的取組の検討において参考とする（回答者数:612人）
- ⇒ **有効利用に向けた四つの方向性**



“市民ニーズ”に沿った施設運営

“理解と共感”を得る分かりやすい情報発信

“施設間連携”や“事業間連携”による相乗効果の発揮

“公民連携”による公共施設の有効活用

市民アンケート結果を踏まえた取組事例①

「暮らしと絵本」棚の新設／ブックセンター

“市民ニーズ”

市民アンケートの代表的意見

- 専門的過ぎて本を身近に感じられない。ごく限られた人だけが利用するところのように感じている。

取組概要

- こども向け、子育て、暮らしのテーマ棚「暮らしと絵本」の新設
- おはなし会やギャラリー展など、こども向けイベントの実施
- 人文棚を中心に読書会ルームを囲む書棚の整理、集約

利用者の声・波及効果

- こどもや親子連れを始めとする利用者の幅が広がり、来館者数や販売冊数・金額が増加。
- 本の販売についても、棚別の販売金額で、新設した「暮らしと絵本」棚の売上が1位となっている。



○来館者数等の推移

	R5年度(4～9月)	R6年度(4～9月)	対前年度比
来館者数 (1日平均)	43,383人 (276人)	49,066人 (313人)	113.1%
販売冊数 (1日平均)	3,551冊 (23冊)	4,379冊 (28冊)	123.3%
販売金額 ※雑貨等含む (1日平均)	6,002,909円 (38,235円)	7,541,603円 (48,036円)	125.6%

市民アンケート結果を踏まえた取組事例②

展覧会等の充実／美術館

“市民ニーズ”

市民アンケートの代表的意見

- 常設展の充実、多彩な美術でわくわくする場所であってほしい。
- 全国的に知名度のある企画や、分かりやすい展示をしてほしい。

取組概要

- これまでも開催している自主企画の展覧会に加え、市民ニーズを反映し、全国的に知名度のある展覧会を開催
- 展示入れ替えの期間を除き通年で展示することで、多彩なコレクションに気軽に触れられる機会を提供

利用者の声・波及効果

- こどもから高齢者まで幅広い年齢層の方々が楽しんでおり、来館者が増加している。
- 県外からの来館者も多く、団体ツアーも増え、観光施設としての役割も担っている。
- 来館者アンケートでは、いずれの展覧会も満足度が高い。



美の殿堂 鈴木コレクション



tupera tupera のかおてん.

○各展覧会の満足度調査

※八戸市美術館来館者アンケート調査より

展覧会名	とても満足	満足	どちらとも いけない	不満	とても不満	合計
ロートレックとバル・イ ポックの巴里- 1900年	7人 70%	2人 20%	1人 10%	0人 0%	0人 0%	10人 100%
藤井73歳展 Fumiyart2024	15人 83%	1人 6%	1人 %	1人 %	0人 %	18人 100%
展示室の冒険	54人 46%	51人 43%	13人 11%	0人 0%	0人 0%	118人 100%
tupera tupera のかおてん.	97人 64%	43人 28%	11人 7%	1人 1%	0人 0%	152人 100%
エンジョイ!アートファ- ム!	67人 26%	121人 47%	67人 26%	0人 0%	0人 0%	255人 100%

市民アンケートの代表的意見

- マチニワで飲食や音楽関連のイベントを増やして盛り上げてほしい。

取組概要

- マチニワイベント支援事業による、飲食・物販を伴うイベントの開催支援（施設使用料の減免）
- マチニワ大道芸の実施
- はっち FRIDAY LIVE！実施（市民公募型ライブ）

平日や冬季は
全額減免！

利用者の声・波及効果

- マチニワでのイベントや、ライブパフォーマンス（歌・演奏・ダンス・大道芸など）を実施することで、多くの人が集まった。
- 飲食があることでまちなかでの滞在時間も増え、中心街のにぎわい創出につながった。



○マチニワの利用状況

年度	利用件数	月平均
R3	212件	22件
R4	273件	23件
R5	381件	32件



市民アンケートの代表的意見

- 中地人工芝コートは料金が高く稼働率が低いため多目的コートにすべき。

取組概要

- 人工芝コート使用料の減免試行（実施期間 R6.5.1～R7.3.31）
- 中地に関するアンケートの実施

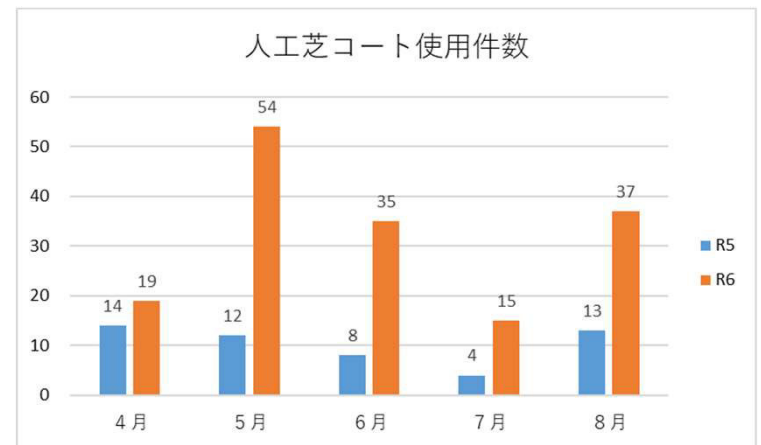
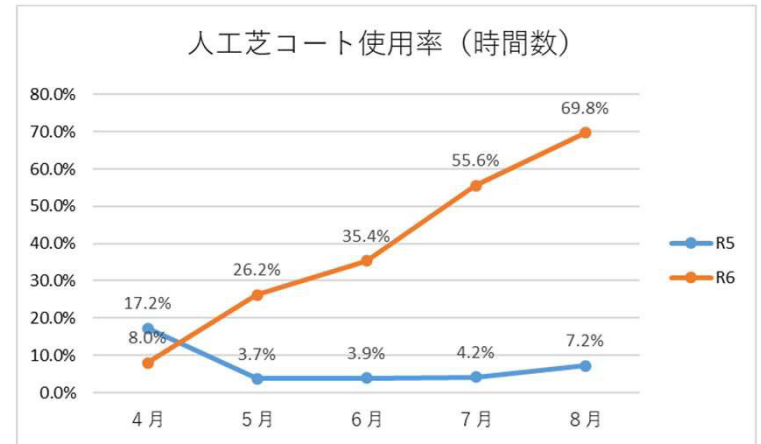
○人工芝コート使用料（1時間あたり）

	半面	全面
現行料金	5,000円	10,000円
試行料金	1,000円	2,000円

利用者の声・波及効果

- 人工芝コート使用料の減免試行により、人工芝コートの使用率（時間数）及び使用件数は昨年度より増加した。
- 使用料収入についても、昨年度より増加傾向にある。
- 中地利用者へのアンケートでは、有効回答の約34%が、5月以降に人工芝コートの利用回数が増加したとの回答であった。
- 人工芝コートの使用率向上に伴い、多目的コートの使用率及び使用料収入も増加傾向にある。

○人工芝コート利用状況の推移



※6月中旬から8月は、スケートリンクの結氷作業や競技者利用のため、中地の貸出日が制限される

市民アンケート結果を踏まえた取組事例⑤ 情報発信の強化／是川縄文館

“理解と共感”

市民アンケートの代表的意見

- 国宝合掌土偶を始めとした出土品の展示方法や見せ方は見応えあるが、その魅力が多くの人に伝わっていないように感じる。

取組概要

- 東京駅や東北新幹線・JR北海道車内誌にPR広告を掲載
- 令和6年3月から是川縄文館公式X (@inorun_korekawa) を本格的に開始

利用者の声・波及効果

- 来館者アンケート等で、是川縄文館公式XやJR広告を見たとの回答が多数寄せられた。
- 是川縄文館公式Xの開始から半年で、フォロワー数が約1.6倍に増加した。

○JR北海道広告(R6.7)



○いのるんX (@inorun_korekawa)



○是川縄文館公式Xのフォロワー数 (人)

月	R6.3	R6.9
フォロワー数	847	1,378

- フォロワー数：約1.6倍 (半年で531増)
- 最大インプレッション数：60,395 (1,893いいね)

市民アンケート結果を踏まえた取組事例⑥

冷房設備更新・照明器具LED化による館内環境の向上／図書館

“市民ニーズ”

市民アンケートの代表的意見

- 全体的に暗く、本を読むためには照明の配置等に工夫が必要。
- 全体的に施設の老朽化が目立っている。

取組概要

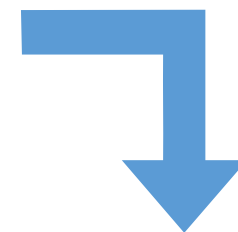
- 令和6年3月1日～8月7日に休館し、設備改修工事を実施。
 - ・ 冷房設備更新
 - ・ 照明器具のLED化
 - ・ 防犯カメラ設備更新

●休館中の代替サービス

- ①移動図書館車庫での臨時貸出
- ②新聞・雑誌等の閲覧(YSアリーナ八戸)
- ③おはなし会の開催(ブックセンター)

利用者の声・波及効果

- 新規登録者が増加している。(前年度同期(8月)比:104%)
- 利用者からは、快適に過ごせるようになったとの声をいただき、おおむね好評。
 - 「館内が明るくなった」
 - 「冷房が適切に作動し、夏場も涼しく過ごせるようになった」



市民アンケートの代表的意見

- 展示内容がほとんど変わらずマンネリ化している。展示をリニューアルしてほしい。

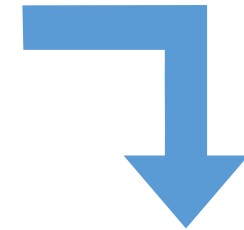
取組概要

- 安心安全で誰もが使いやすい博物館をコンセプトに、実施設計を行っている段階
- 令和7年度以降は施設を休館し、展示リニューアルを実施予定
- 合わせて、施設・設備の長寿命化に向けた改修工事を実施予定

利用者の声・波及効果

- 日常的に行っている来館者アンケートの結果など、利用者の声を踏まえたリニューアルを目指す。

《改修後のイメージの一例》



市民アンケート結果を踏まえたその他の取組 (1/2)

“市民ニーズ”に沿った施設運営

ブックセンター	企画事業の拡充	・親子連れやこども向け等の企画事業(おはなし会、トークイベント、ワークショップ等)のほか、複数回の来館を促す連続講座を開催
美術館	ミュージアムショップの充実	・可動式陳列棚の追加等、ミュージアムショップの充実
図書館	開館150周年記念事業の実施	・動画制作、庁舎でのパネル展示、講演会等の実施

“理解と共感”を得るわかりやすい情報発信

美術館	アートファーマープロジェクト	・建築ツアーガイドとして、美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、体験を通してオリジナルガイドを行うほか、マンガを用いたリーフレットを作成 ・美術館広報部を設置し、美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、部員の体験を通して展覧会や美術館等をSNS等で発信する
YSアリーナ八戸	新たな情報発信媒体の活用	・イベント等の施設情報について、LINEアプリ(市公式、はちまち)、屋外デジタルサイネージ等の新たな情報発信媒体の活用

市民アンケート結果を踏まえたその他の取組 (2/2)

“施設間連携”や“事業間連携”による相乗効果の発揮

美術館	教育機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高の教員、美術館学芸員、専門家が「学校連携プロジェクトチーム」をつくり、美術館を拠点に学校の授業で役立つツールやプログラムづくりなどを行う ・市内の高等教育機関が有する専門性と美術館の専門性を掛け合わせ、社会人と学生と一緒に学び社会で実践できるプログラムを展開する
YSアリーナ八戸	中心街施設のイベント情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回実施している中心街立地施設の情報交換定例会における情報共有を活用した、スケート合宿者へのイベント等の情報提供

“公民連携”による公共施設の有効活用

美術館	私立美術館との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸クリニック街かどミュージアムと連携し、文化芸術活動を行っている中心街等の店舗・施設を、八戸の文化芸術を創り出す共創パートナーとして紹介する「まちなかアートマップ」を作成 ・令和6年度からは、それらのイベント情報をSNS(LINE)を利用し、プッシュ型の情報発信を実施
マチニワ	マチニワ展示・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・さくら野×はっち マチニワ京舞披露 ・はちのへ山車振興会×はっち山車展示
YSアリーナ八戸	サテライト施設トライアルサウンディング	<ul style="list-style-type: none"> ・空き施設となっているサテライト施設について、施設利活用の可能性を調査するため、民間事業者に暫定利用をしてもらうトライアル・サウンディングを実施する <p>【第1期(4～6月使用)／第2期(7～9月使用)／第3期(10～12月使用)】</p>

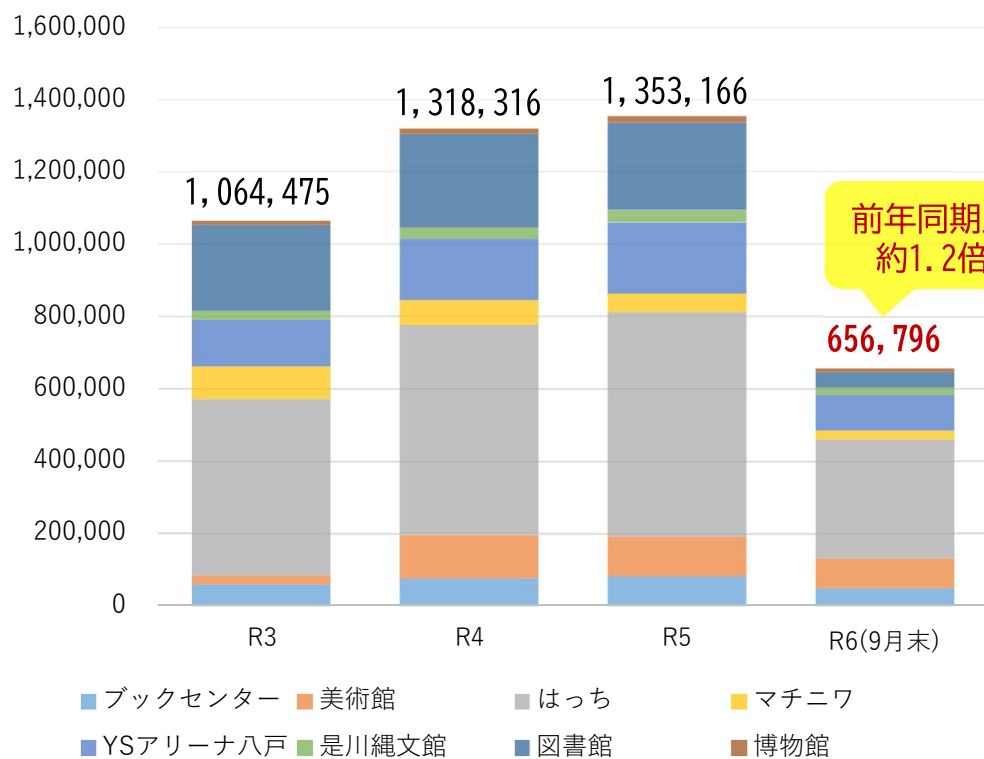
施設の有効利用と費用対効果の向上 (1/2)

◆ 施設利用者の増加 + 地域経済への効果波及

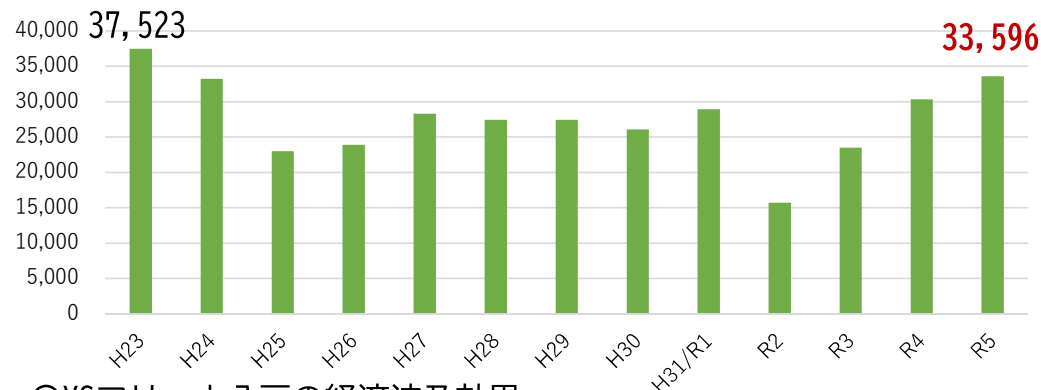
是川縄文館 … 世界遺産登録の追い風もあり、R5年度来館者数が**過去2番目に多い33,596人**を記録

YSアリーナ八戸 … 各種競技大会や合宿の受入れにより、**施設運営費を上回る経済効果**を創出

○アンケート対象8施設の延利用者数 (人)



○是川縄文館の来館者数 (人)



○OYSアリーナ八戸の経済波及効果

年度	大会・合宿等	来場者数	経済効果額
R3	EXIT地域活性化ライブ スポーツスケート合宿	(非公表) 12,068人	約2.2億円
R4	全日本スポーツスケート選手権 国民体育大会冬季大会 スポーツスケート合宿	2,000人 10,579人 13,565人	約4.3億円
R5	ジュニアワールドカップ・世界ジュニア スポーツスケート合宿	14,360人 17,600人	約5.4億円

施設の有効利用と費用対効果の向上 (2/2)

◆ 中心街立地施設の連携による相乗効果の発揮

図書館×ブックセンター

- 図書館の休館に伴い、同館で行われていた絵本の読み聞かせをする「おはなし会」をブックセンターで開催

美術館×ブックセンター×周辺店舗

- 美術館の展覧会「tupera tuperaのかおてん。」(主催:青森朝日放送)のタイアップ企画として、展覧会の舞台裏をのぞくことができる「かおてん.の裏側展」をブックセンターで開催
- 美術館の周辺店舗にて「tupera tuperaのかおてん。」にちなんだオリジナルメニューを提供



美術館×はっち×更上閣

- 3施設を会場に、キッチンカーや飲食屋台と音楽ライブを楽しむ屋外イベント「ヨルニワ」を開催



「おはなし会」

「tupera tuperaのかおてん。」オリジナルメニュー



エスタシオン



カネイリ喫茶



八戸グランドホテル

利用促進に向けた今後の展開

展覧会等の充実や 大規模イベント

- 「ポケモン×工芸展」など、多彩な展覧会の開催【美術館】
- 「四大陸スピードスケート選手権大会」に続く、国際大会の誘致【YSアリーナ八戸】

展示リニューアル や設備改修

- 観光展示屋台の更新や、館内照明LED化による維持管理費の削減【はっち】
- セルフ貸出機の設置や電子書籍サービスの導入など、デジタル化の推進【図書館】
- 展示リニューアルや空調設備の改修による魅力向上【博物館】

多様な連携による 利用促進

- 本館地下食堂の再開に向けたサウンディング型市場調査の実施【市庁舎】
- 中心街立地施設における利用者サービス向上策の検討



八戸市立
図書館
1874 } 2024